

東北地方 1か月予報

(6月12日から7月11日までの天候見通し)

平成16年6月11日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

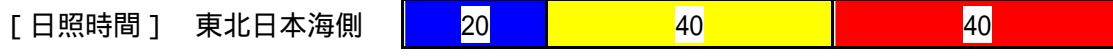
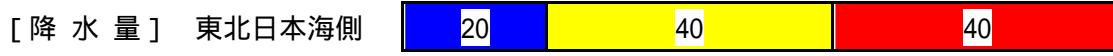
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変化し、東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、梅雨前線やオホーツク海高気圧の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い、降水量は東北日本海側で平年並が多い、東北太平洋側で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並が多い、東北太平洋側で平年並でしょう。

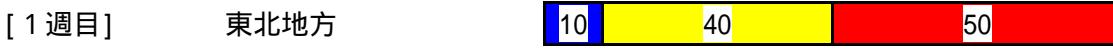
週別の気温は、1週目は高い、2週目は高い、3～4週目は高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 6月12日(土)～7月11日(日)

1週目 : 6月12日(土)～6月18日(金)

2週目 : 6月19日(土)～6月25日(金)

3～4週目 : 6月26日(土)～7月9日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は6月18日

3か月予報:6月24日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	18.4	183.7	135.3	17.3	17.9	19.0
新庄	19.8	175.7	134.3	18.7	19.2	20.4
若松	20.9	157.1	140.9	20.0	20.4	21.5
深浦	18.5	130.1	168.0	17.1	17.9	19.3
青森	18.2	93.0	170.4	16.9	17.6	18.9
むつ	16.8	123.4	147.8	15.6	16.1	17.4
八戸	17.3	118.6	157.1	16.2	16.6	17.9
秋田	20.1	169.2	160.9	18.8	19.6	20.7
盛岡	19.3	142.2	135.2	18.2	18.7	19.8
宮古	17.2	140.3	129.6	16.1	16.5	17.8
酒田	20.5	175.3	156.5	19.4	19.9	21.1
山形	20.6	131.6	134.9	19.6	20.0	21.2
仙台	19.4	169.9	111.0	18.3	18.7	19.9
石巻	18.8	136.2	129.3	17.7	18.2	19.3
福島	20.9	147.3	114.1	20.0	20.2	21.4
白河	19.5	198.4	106.7	18.5	18.8	20.0
小名浜	19.3	166.7	123.2	18.3	18.8	19.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6~+0.5	87~115	92~108
東北日本海側	-0.5~+0.3	81~109	92~106
東北太平洋側	-0.6~+0.5	87~108	90~112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.5	-0.6~+0.5	-0.5~+0.4
東北日本海側	-0.6~+0.3	-0.6~+0.5	-0.5~+0.6
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.4	-0.7~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年6月11日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(6月12日~7月11日):

天気は数日の周期で変化し、東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、梅雨前線やオホーツク海高気圧の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

1週目(6月12日~6月18日):

明日(12日)は、曇りや雨となる所が多いですが、その他の日は高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2週目(6月19日~6月25日):

天気は数日の周期で変化しますが、梅雨前線や低気圧の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3~4週目(6月26日~7月9日):

天気は数日の周期で変化し、東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、梅雨前線やオホーツク海高気圧の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

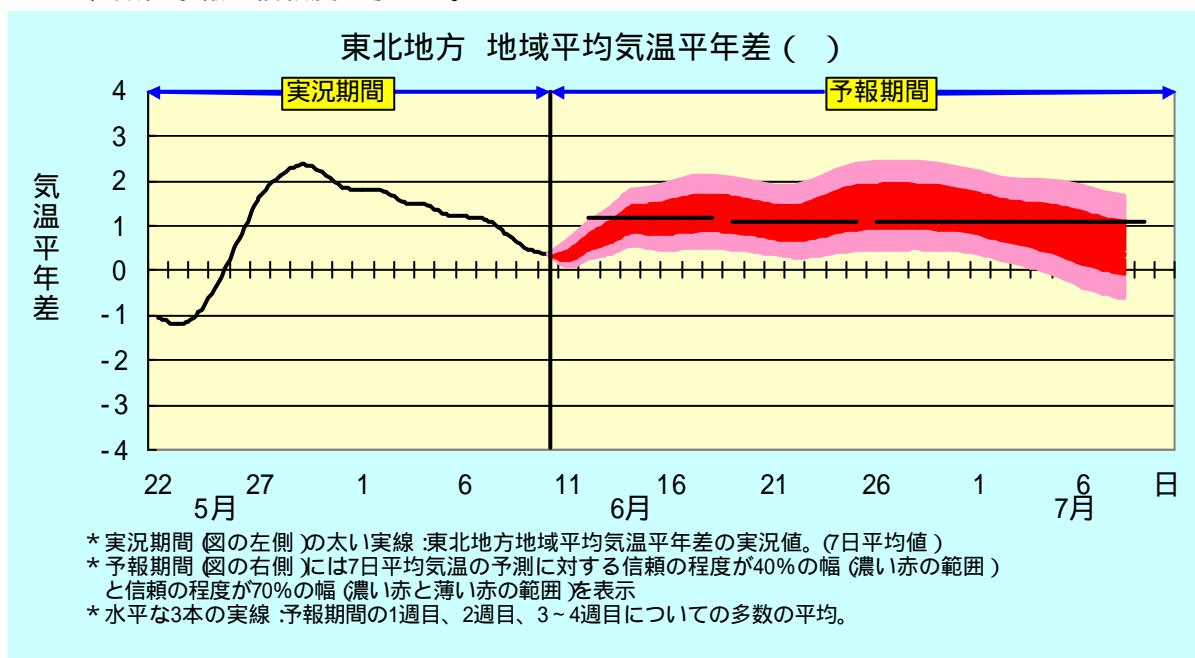
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	11.8日	3.6日	2.8日	5.4日
東北太平洋側	10.0日	3.1日	2.3日	4.6日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目を「高い」、2週目を「高い」、3~4週目を「高い」と予想している。予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

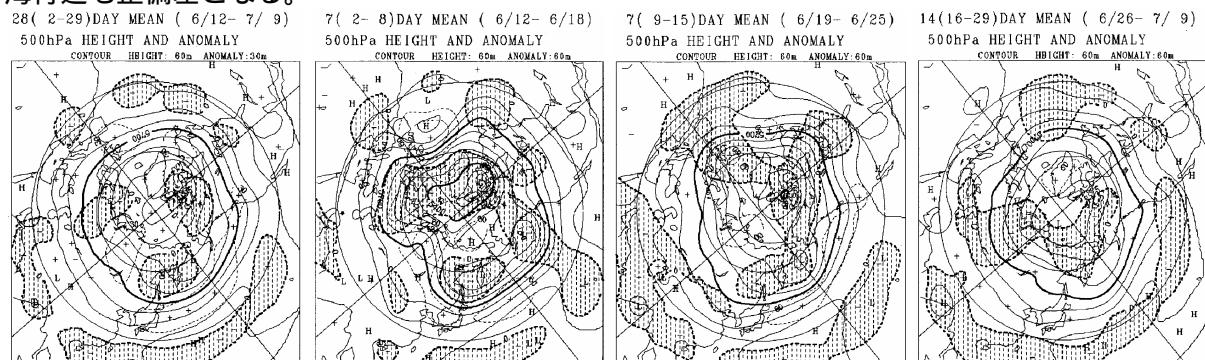


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は帯状の強い正偏差に覆われ、日本の南にある亜熱帯高気圧の北への張り出しが強い。一方、オホーツク海付近に気圧の尾根は予想されるが、負偏差に覆われる。偏西風の流れは東西流が卓越し、天気は数日の周期で変わる。

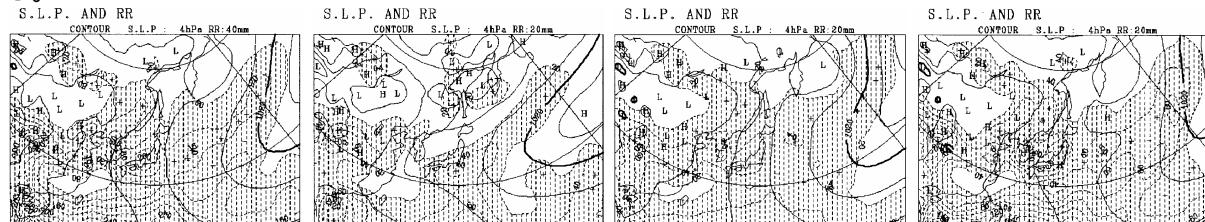
1、2週目共に月平均と同様の循環場。3~4週目も日本付近は正偏差に覆われるが、オホーツク海付近も正偏差となる。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧が日本付近に張り出しが、オホーツク海高気圧は不明瞭。まとまった降水量が日本付近にかかる。

1週目は、太平洋高気圧が日本付近に強く張り出しが、梅雨前線対応のまとまった降水量は日本の南岸。2週目も太平洋高気圧が日本付近に張り出しが、梅雨前線に対応する低圧部やまとまった降水量は見られない。3~4週目は、三陸沖に梅雨前線に対応する等圧線のくびれが見られ、まとまった降水量が日本付近にかかる。カムチャツカ半島の南にはオホーツク海高気圧が予想される。

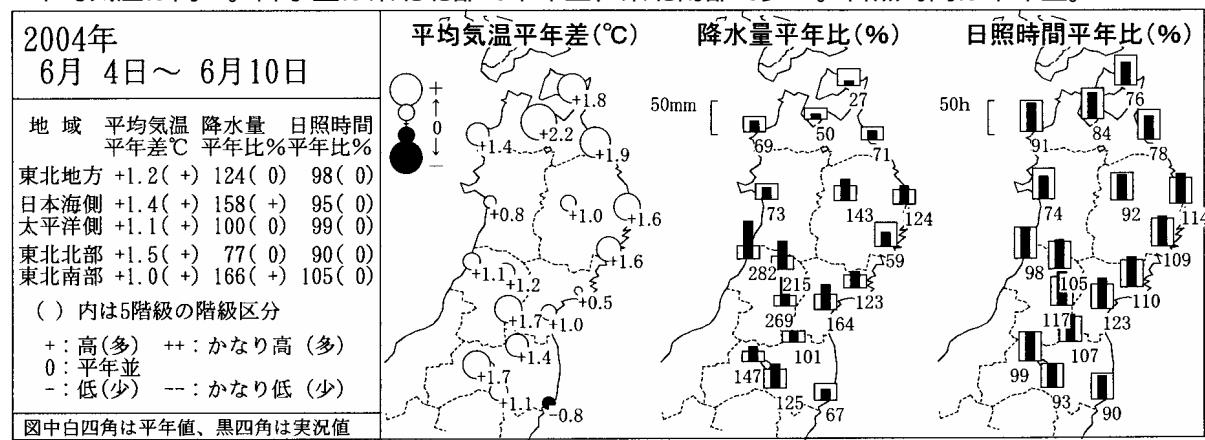


4. 最近1週間（6月4日～6月10日）の天候の経過

期間の前半は、高気圧に覆われ概ね晴れた。後半は、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の終わりには高気圧に覆われて晴れる所もあった。

なお、7日頃に東北北部、南部とも梅雨入りしたとみられる。

平均気温は高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)